

研究情報の公開（オプトアウト）について

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性のある方で診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

課題名	足部可動性を有する長下肢装具を用いた前型歩行トレーニングの実施による実際の退院時の歩行予後と二木による予後予測指標を用いた際の退院時の歩行自立度との比較
研究代表者	高橋 智佳
目的	一般的に使用される頻度が高い予後予測指標における歩行自立の可否の予測結果と、回復期リハ病棟退院時の実際の歩行自立の可否の結果を後方視的に調査し、我々の提供する治療法が予後予測指標によって予測される治療成績を超え得るものであるかを調査すること。
対象	2017年4月から2020年10月の間に当院回復期リハ病棟に入院となった脳卒中患者のうち、GaitSolution 足継手付き長下肢装具（以下GS-KAFO）を作製し、前型歩行練習が行われた患者様。
方法	診療記録から、性別、発症時年齢、病型、障害側、入院時と退院時の下肢Brunnstrom Stage、発症から入院までの日数、発症からGS-KAFO処方までの日数、回復期在院日数、発症後2週または1か月時時点でのベッド上生活自立度、基礎的ADLの可否、意識障害（JCS）、認知機能（HDS-R）、両側障害や心疾患の有無、当院退院時の病棟内歩行自立度を後方視的に調査した。これらの後方視的データから二木の予測結果を求め、実施の当院退院時の歩行自立度と、二木の予測結果との比較を行った。
個人情報への配慮	使用する情報については匿名化を行い、個人が特定されるようなデータは一切使用しない。
問い合わせ先	鶴岡協立リハビリテーション病院 事務長 友野研 TEL：0235-78-7511